



公明党
三上 裕久

避難行動要支援者の避難支援について

質問 避難行動要支援者に対する町内会、民生委員などの協力体制の確立へ向けた状況を伺う。

答弁 これまですべての町内会長宅へ要支援者の個別プラン策定の協力をお願いしてきており、今後も策定率の向上を図っていきます。

質問 地域に割り振られた避難所は、地域住民が一斉に避難した場合に全員を収容できるのか伺う。

答弁 全市的には2万人規模の避難者を想定しているところですが、収容可能数は18,000人で不足の2,000人については、防災協定を結んでいる施設への収容が可能となっています。

質問 要支援者への避難支援は、誰が誰を支援するというように明確にされているのか伺う。

答弁 被害地域や被害状況などに基づいて、災害対策本部で避難支援に当たることになります。

質問 河川敷施設の被害時の復旧についての考えを伺う。

答弁 国庫補助により95%が災害復旧事業債等で措置され、一般財源の負担とならないよう対策を講じていきます。

石狩川河川敷パークゴルフ場のオープン後の状況について

質問 総入場利用者数および市内利用者・市外利用者の利用状況を伺う。

答弁 8月末までの利用者は1万6,920人、市内利用者は1万2,482人、市外利用者は4,436人となっています。

質問 オープン後の経済効果と市民の健康増進に、どの程度の効果があったと考えるのか伺う。

答弁 全道大会の開催時には、道内各地より宿泊利用があり、経済的効果が一定程度あったと思います。また、多世代

交流、コミュニティづくり、市民の健康増進にも大いに効果があったと考えています。



▲石狩川河川敷パークゴルフ場



公明党
堀 重雄

食品ロスについて

質問 昨年の第2回定例会で質問したが、食品ロス削減の取り組み状況を伺う。

答弁 食品ロス削減は、本市にとっても大きな課題であり、大切な運動だと考えています。

昨年提案された宴会の最初の30分と最後の10分は全員自席で食べる30―10運動については、市長が率先して各会合や宴会などにおいて市民の皆さんや市職員にも呼びかけて取り組んでいます。

平成28年の広報たきかわ8月号に「食品ロスを考えよう」を掲載しています。取り組みとしては、10月3日にまちづくりセンターみんくるで開催の滝川消費者まつりにおいて、食品ロスを重要テーマとして位置づけ、展示コーナーやパネルの設置、クイズなどを企画しています。

また、市民向けにチラシを配布し、企業や飲食店向けに30―10運

動や食べきり運動の啓発に取り組みんでいます。

なお、健康づくり課では、第3次滝川市食育推進行動計画に基づき、食べきり運動の普及啓発を掲げており、広報たきかわ12月号での掲載を予定しています。

児童扶養手当支給について

質問 現状の支給は4月、8月、12月の4か月に一回であり、受給者からは、毎月の支給の要望がある。兵庫県明石市は、今年度より試験的に毎月支給の取り組みを実施しているが、本市の見解を伺う。

答弁 児童扶養手当支給については、国の制度であり、自治体の判断で毎月支給することは認められていません。

新聞報道にもありましたが、現行の4か月分をまとめた支給では家計のやりくりが難しいなどの声を受けて、厚生労働省が平成31年度から2か月ごとの支給を検討する動きもあります。

このことにより支給に係る事務量は増加しますが、受給者にとってよりよい形となるように、対応していきたいと考えます。